

令和2年度

第2回 区民参画組織 麻布を語る会 麻布地区政策分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和2年11月9日(月) 18:30~19:45
開催場所	Microsoft Teams 会議 / 麻布区民協働スペース スペース1・2 (併用開催)
参加者 (敬称略)	【分科会メンバー：17名】 大竹、岡本、鍵谷、加生、北野、金原、古平、佐々木、城川、田中、堂園、 中村、橋本、峯崎、唯是、吉野、吉松、 【事務局：3名】 瀧澤(協働推進課長)、板橋(地区政策担当係長)、遠藤(協働推進係) 【説明者：3名】 加茂(管理課長)、大久保(まちづくり課長)、橋本(区民課長)
概 要	1 開会 2 港区基本計画・麻布地区版計画書(素案)について 3 総括 4 事務連絡
配付資料	資料1 港区基本計画・麻布地区版計画書(素案)概要 資料1-2 港区基本計画・麻布地区版計画書(素案) 資料2 港区基本計画・麻布地区版計画書策定に向けたスケジュール
副座長	【会議経過】 1 開会 ただいまから、令和2年度第2回麻布地区政策分科会を開催します。本日の終了時刻は、最近、新規コロナ感染者数が増加傾向にある状況も踏まえ、長時間にならないよう、19時30分を予定しております。 記録のため、撮影・録音をしていますのでご承知おきください。また、全ての発言は挙手、指名を原則とします。オンラインと麻布区民協働スペースの様子を見ながら、私が順に指名しますので、ご協力をお願いします。 それでは、事務局から、本日の配布資料の確認等をお願いします。
事務局 各課長	(配布資料の確認) (挨拶)
副座長	委員の皆さんでも今年度に入って初めて参加の方がいらっしゃいますので、近況報告をお願いします。
委員	(近況報告)
副座長	本日の議題に入る前にもう1点、皆さんへ報告です。前回、第1回分科会で「第15回マニフェスト大賞」に提言書をエントリーしたことをお伝えしました。その結果について、座長からご報告をお願いします。
座長	早稲田大学のマニフェスト研究会が主催する「第15回マニフェスト大賞」について、今年度の応募総数は過去最多の2,842件でした。全国の自治体・政治

	<p>関連の団体等がそれだけ応募したということです。エントリーした結果は、エリア選抜の138件に選ばれましたが、最終選考の優秀賞35件には残りませんでした。また次回、挑戦できる機会を楽しみにしています。委員の皆さんにはご協力いただきありがとうございました。</p>
副座長	<p>このマニフェスト大賞に向けて取り組んでいる団体なども多くある中、エリア選抜の138件に選ばれたことは、本当に素晴らしいことだと思っています。私たちはみんなで協働して運営している組織ですから、これからも一緒に色々試してみても、成功例をニューノーマルとして分科会の取組に加えていければよいと思います。今回の結果にめげずに、次は、コロナ禍のニューノーマルに対する取組でチャレンジしてもいいかなと思っています。</p> <p>良い経験ができて本当に嬉しいです。ありがとうございました。</p>
	<p>2 港区基本計画・麻布地区版計画書（素案）について</p>
副座長	<p>それでは、本日の議題に入ります。港区基本計画・麻布地区版計画書（素案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻布地区版計画書（素案）について <ul style="list-style-type: none"> 各地域事業の提言に対する検討状況とコロナ禍での地域事業開催状況 ・今後のスケジュールについて <ol style="list-style-type: none"> ①パブリックコメント：11月11日（水）～12月11日（金） ②区民説明会 11月19日（木）19時～ 麻布区民協働スペース 11月22日（日）14時30分～ ありすいきいきプラザ ③説明動画：パブコメ期間中、区ホームページで素案説明動画を配信
副座長 A委員	<p>ありがとうございました。ご意見、ご質問等ある方は挙手をお願いします。素案4ページの「コロナ禍での六本木安全安心プロジェクト」の写真ですが、私たちはご連絡いただいていませんし、皆さんの服装も「六本木安全安心プロジェクト」のベストではないのですが、これはどういうことでしょうか。</p>
事務局 A委員	<p>これは、麻布警察署と区によるコロナ禍での営業自粛をお願いするキャンペーンの写真で、区民の皆様と毎月行っているキャンペーンではありません。41ページ「地域防災力の向上」の3行目、「地域防災協議会」という表記ですが、「地区防災協議会」や「防災防犯ネットワーク」など、様々な名称の協議会がありますので、ここは「地域の防災協議会」と表記した方がよいと思います。</p>
協働推進課長 B委員	<p>誤解のないように表現を調整します。</p> <p>区民説明会には、どのくらいの区民が参加するのですか。</p>
協働推進課長	<p>麻布地区では、区民の皆様に計画の素案を説明する場として、19日の麻布区民協働スペースと22日のありすいきいきプラザの2回、区民説明会を設けています。前回、3年前に開催した際は、各回、約10名から15名程度の区民が参加しました。今回は、区のホームページで素案説明の動画配信も行いますので、その動画を見てご意見をいただくことも可能です。</p>
C委員	<p>素案19ページに「ミナヨク」のマークがあるのが「地域事業」とありますが、そのマークがついていない事業は、何という事業なのですか。</p>
事務局	<p>これまでは、「計画計上事業」という名称で掲載していましたが、今回から</p>

<p>C委員 協働推進課長</p>	<p>は「主な取組」という名称で掲載しています。 「地域事業」と「主な取組」の違いはどのようなところなのか。 「地域事業」は、地域の課題解決に向け取り組む事業で、その課題が解決したり目的が達成されたりした際には終了することを前提としています。一方、「地域事業」と位置づけていない「主な取組」は、経常的に取り組んでいく事業を示しています。</p>
<p>C委員 協働推進課長</p>	<p>今回の分科会では、地域事業についてのみ意見具申をするのですか。経常的 事業についても意見を述べていいものなのか。 地域事業でも経常的に取り組む事業でも、ご意見をいただくこととしています。</p>
<p>C委員</p>	<p>今回の提言で、「「地域と事業所」防災連携プロジェクト」を廃止としたが、 素案の中に「地域防災力の向上」があることに少し疑問を感じたので、質問を させていただきました。この「地域防災力の向上」についても意見をしていく ということで理解しました。</p>
<p>副座長 B委員</p>	<p>他にご意見はありますか。 分野Ⅲの施策（2）に、人生100年時代を実り多く豊かに生きるまちをつく るとあり、これは、麻布地区の皆さんが豊かに生きていけるまちをつくりまし ょうということだと思いますが、ある程度働ける能力がありながら、生活保護 を受けている人もいます。それが10年以上も続いている人もいるのが実態で す。生活保護の受給手続き方法等について再考してみてもいいと思います。</p>
<p>区民課長</p>	<p>区民課では障害のある方、高齢の方、生活保護に至る方、様々な区民の皆さん の福祉の対応にあたっています。 生活保護については、長年、病気で生活保護を受けている方もいますが、麻 布地区は他地区と比較して少ないのが現状です。月に1回は、ケースワーカー が必ず面談をして、状況を確認することになっています。また、社会福祉協議 会とも連携し就労支援等も行っています。</p>
<p>副座長 D委員</p>	<p>生活保護の政策は、5地区で違いがあってはならないものなので、全庁的な 政策として、保健福祉支援部生活福祉調整課が所管しています。 オンラインで参加の皆さんも、ご意見がありましたらお願いします。 68ページ、69ページの「「区民参画組織 麻布を語る会」の見直し」につい て、具体的なお話をこれまで何う機会がなかったので、教えていただきたいと 思います。この「地区政策委員会」「地区広報委員会」という委員会が新たに 設けられ、その中に現在活動している「地域情報の発信分科会」「麻布未来写 真館分科会」があるというのは、どこがどう変わっていくのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>名称は今後検討していきませんが、69ページの図の「地区政策委員会」は、こ れまでの麻布地区政策分科会の活動を引き継ぎます。また、「地区広報委員 会」の下に「地域情報の発信分科会」「麻布未来写真館分科会」が位置づいて いるように見えますが、この2つの分科会活動についても、これまでどおりの 活動を行っていただきます。「地区広報委員会」は、これらの分科会活動を含 めた、麻布地区の地域事業等のより良い広報のあり方を考える場として設置 する予定で、まずは、来年度から支所内で広報のあり方の検討からはじめ、皆 様にもご意見をいただきながら、最終的には区民参画組織を立ち上げる予定 です。組織を再編する中で、委員会や分科会の名称も整理していきます。</p>
<p>D委員</p>	<p>幅広い方々からのご意見をいただきたいというところでの改編という理解 でよろしいでしょうか。</p>

事務局	はい。具体的にどうするかは、まだ検討段階ですが、「地区広報委員会」を構成する委員は、各分科会の座長・副座長等も候補とし、幅広く意見をいただきたいと思っています。
D委員	イメージが湧いてきました。ありがとうございます。
E委員	素案52ページなど、SNSを活用して発信していくという記載があり、提言作成の現場での意見が反映され嬉しく思います。LINEは公式アカウントがあるのでしょうか。
協働推進課長	10月から港区のLINE公式アカウントがスタートしました。麻布地区独自としては、Twitterの公式アカウント (@minato_azabul) があります。
E委員	情報拡散ということでTwitterやLINEを活用するのはよいと思います。 参考までですが、今の20代の人に聞くと、Webサイトでの検索はほとんどせず、InstagramやYouTubeで検索して、どこかへ行くのが当たり前のようです。お祭りやイベント等の集客を目的とする時には、インスタやYouTubeの活用を考えてみたらいいのではと思います。
協働推進課長	区もSNSに力を入れており、重要なお知らせや出来事を配信するために各部ごとでTwitterを始めました。また、麻布地区では、今後の地域事業でのSNS活用も検討しているところです。
E委員	ぜひ、がんばってください。
B委員	コロナ禍で、六本木安全安心パトロール隊の活動等は現在も中止しています。そのような中で、自転車の危険走行や放置自転車等、自転車のマナー・ルール違反が非常に多くなっていることを危惧しています。 これまでは、パトロール隊の活動で注意をする機会がありましたが、今はそれができない状況です。青パト隊員も注意してくれていますが、現実問題、権限がないと効果があがらないことは目に見えています。六本木のビルオーナー会議でも自転車のマナー・ルール違反が一番の問題になっています。
協働推進課長	区は警察とも連携して、積極的な注意喚起やルールの強化など、具体的な方策を検討していく必要があると思います。 六本木安全安心プロジェクトで月1回実施するキャンペーンについては、感染症対策をしつつ、11月以降はこれまでどおり月1回実施する予定ですが、具体的な内容は今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を踏まえて検討していきます。
B委員	また、路上でのたむろ行為も問題となっています。これも青パト隊員による注意喚起を行っており、危害が及ぶ可能性もあるので2人組で対応していますが、その取組についても限界があることは感じています。
A委員	危険を伴いますので、必ず警察を立ち合わせたほうがいいと思います。 今の意見に関連して、危険走行がとっても怖いと感じています。この計画では放置自転車対策しか挙げられていませんが、危険走行をやめさせるような取組をなぜ取り入れないのか疑問を感じています。また、青パトはよく見かけるのですが、青パト隊員というのは、私は会ったことがありません。どのようなもので、どこまで権限を持っているのですか。
協働推進課長	区が委託する港区青色防犯パトロールの従事警備員、通称青パト隊員は、青色回転灯車両により巡回パトロールをしています。適宜車両から降車してパトロールを行います。
副座長	11月19日、22日に区民説明会があり、パブリックコメントは11月11日から12月11日まで受け付けていますので、皆さんのご意見は、引き続き事務局へお寄

してください。最後に座長から総括をお願いします。

3 総括

座長

定刻も過ぎているので、手短かに何点か申し上げます。

D委員からご質問があった「広報委員会」は、座長・副座長の総括で提言したものです。趣旨としては、先ほどE委員からのご意見でもありましたインスタやYouTube等のSNSの活用の点で、区が公式にできることにはやはり限界がありますので、区民の手で情報発信や共有が柔軟にできるようなセクションが必要なのではないか。広報委員会を設けて、企画であったり、時には手駒として動いたりということを考えています。今後も、正副座長で働きかけを行っていきます。

B委員のご意見は、私も危惧しており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、六本木の治安は悪化しています。いたるところでごみが散乱し、路上でたむろして飲酒等をしたりという状況が多く見られ、悪臭も気になります。区と警察が連携して、六本木の治安向上に努める必要があると考えています。

コミュニティを維持していくためには、「自立」と「自律」が大切です。この2つのどちらが欠けても地域コミュニティは成り立ちません。

ただ、私もこの分科会活動に長く携わっていて感じることは、法律や条例で規制しても、最終的には一人ひとりの自覚が大切です。他者に対する配慮、思いやりや気遣いなどの連鎖でコミュニティを維持していく、個人の意識が非常に重要だと感じています。

麻布地区政策分科会は、人格や品格の面でも、区民の皆さんの模範となるようにやっていきたいと考えています。座長として皆さんと歩調をあわせて、今後も尽力していきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

副座長

ありがとうございました。最後に事務局から事務連絡をお願いします。

4 その他

事務局

①次回（第3回分科会）の予定

2月中旬頃にオンラインと麻布区民協働スペース併用で開催予定。

決まり次第、書面又はメールにて連絡。

②素案に対する追加意見

11月11日～12月11日の区民意見募集(パブコメ)期間中に事務局へ。

③区民説明会

港区基本計画・分野別計画の素案や、他地区の計画書素案の内容に関心のある方は、各地区で開催する区民説明会へ。

副座長

これをもちまして、令和2年度第2回麻布地区政策分科会を終了します。

これから冬になりますので、皆さん感染防止と予防に十分気をつけて、2月にまた元気にお目にかかりたいと思います。本日はありがとうございました。

以上